

SOS ニュース

「医療費、1人で年30万円超」

～「はしご受診」減らして抑制～

日本の国民医療費は膨張を続けており、1人当たり30万円を超える。抜本的な抑制策はなく、無駄を減らす努力を積み重ねることが不可欠だ。不要不急の受診をやめるなど国民1人ひとり出来ることも多い。

■国民医療費とは：病気やけがの治療のために病院や診療所に1年間に支払われたお金のトータルを指す。健康保険からの給付と患者の窓口負担、公費で賄う医療費（生活保護など）

■どれくらい増えているか：ここ数年は一兆円超のペースで増えている。2011年は約38兆円6千億円で国民1人あたり初めて30万円を突破した。増加の主な要因は高齢化の進展と医療技術の高度化。医療費は年齢とともに高くなる傾向にあり、高齢化が進めば医療費は増える。

■諸外国も同じ悩みを抱えているのか：先進各国も日本と同じように高齢化が進んでいる。医療制度の違いで単純な比較は出来ないが、どの国も医療費の膨張は悩みの種だ。日本の政府は新薬と同じ成分でより安価な後発医薬品のシェアを高めたり、高額医療につながる生活習慣病を予防したりする取り組みを急いでいる。

■国民1人1人に出来ることは：経済協力開発機構（OECD）の調査によると、平成21年の日本人の診察回数は年平均13.1回で、国際的にも突出している。「はしご受診」や「コンビニ受診」を減らせば、医療費の抑制につながる。・・・医者に行き出される薬の多さが気になる人も少なくないと思いますが、もっとやるべき事はたくさんあります。医療費の問題は病気にならないためのケアを1人1人が心がけるところからとも言われています。その為にはストレス、つまり悩みをため込まないように、相談出来る場所を持っている事も健康を保つ事に関係してくるはずですよ。